

予診票の  
一括入力  
自動入力

紙の予診票の  
提出が不要

もう、紙の予診票はいりません！

## 小児予防接種の デジタル予診票を 始めました！

糸満市では、いとまん子育て応援アプリ「母子モ」で、デジタル予診票サービスを始めました。予防接種の度に、何枚もの予診票を手書きしていましたが、デジタル予診票で大幅に改善します。

予防接種の  
スケジュール  
管理ができる

予防接種履歴を  
確認できる

利用登録方法

①アプリ「母子モ」のインストール  
またはアップデート



②市が発行した利用者登録用QRコードを読み取り



### 利用者登録用QRコードについて

利用者登録用QRコードは、1月下旬以降に対象者へ順次送付しています。

### 送付対象者

2019年4月2日～2024年11月30日 生まれのお子さんがあるご家庭

※2019年以前に生まれたお子さんで、利用を希望される人は、お問い合わせください。

### 注意

予防接種の予約は、従来通りご自身で医療機関へご予約をお願いします。

デジタル予診票対応医療機関は、糸満市のホームページで確認をお願いします。

健康推進課 840-8126 ID 26167

## 地域おこし協力隊 ルドさんが行く #38



初めて来沖したきっかけは糸満で食農体験を習う研修でした。その時、市内の畑、市場、漁港、公民館など、多様なシーンで作業や活動があつて、糸満ならではの暮らしを短期間で触れ合う機会が沢山ありました。朝のいとまの相売り広場にアンマー（お母さん）たちがやしのひげ根を取っている場面にも、畑で農家さんがトマトを間引きしている場面にも、港で一服している海人達の憩いの場にも、その背景にラジオが流れていることがいまだに強く印象に残っています。というよりも「音楽あふれる FM 76.3 あわすラジオはたまん局」が頭にしっかりと残って、糸満の人は「FMたまん」が好きだなと覚えました。

娯楽が少なかった戦後の沖縄に「親子ラジオ」という選局不可な簡易家庭用有線受信機が存在していたことと、ご当地のユンタク文化がラジオをよく聴く習慣の原点なのではと、FMたまんに取材した際に聞きましました。調べたら、コミュニティラジオの局数は県内17局で北海道と神奈川に次いで、沖縄は全国で3位でした。糸満市民ならFMたまんの存在は知らない方が少ないでしょうが「コミュニティ放送」の概念については意識が曖昧かもしれません。コミュニティ放送のラジオ局はかなり狭い範囲で放送制限されて、地域に深く根づいています。FMたまんの場合、実は1997年に阪神・淡路大

震災の後、災害時の地域の連携が強いラジオはライフラインとしての重要性が改めて認識されて、糸満にもラジオを立ち上げた経緯があります。

私の場合、夕方の車を乗る時間に聴く76.3 Sun Setの番組は一番癒されますが、頻繁に外出しているため、いろいろな番組を聞きます。海天気、イベント情報、民謡や給食の献立から文化研究者の講演会やセリを生々しい情報まで、趣味も年齢層も、プロ級から手作り感満載の番組まで、笑えるぐらいの振り幅を見せています。100名ほど参加しているパーソナリティーと南部に生活しているリスナーの多様性を表しています。

一見、まとまりが無いように聞こえますが、実は違います。絶対にブレない共通点は地域に密着している市民参加型です。本来はありえませんが、放送中にスタジオのドアに鍵がかかっています。局の電話番号が直接生放送につながります。参加したい人はいつでもウエルカムです。糸満市民から、糸満市民へ、糸満市民のためです。

うちなー口の生放送もあつて、糸満の文化と暮らしが根底にあると感じます。直近、番組に参加した際に気がついたことですが、FMたまんは「旧暦」と言わなくて、現在進行形の「本暦」と表現します。そんなこだわりがイチマンチユなら心に響くはずですが、まちへの愛が溢れる、フィルターなしのわたたー市民のラジオ局です。



アンケートに答えて特産品をゲット！

### 「広報いとまん」市民アンケート!!

市民アンケートに答えていただいた人の中から、抽選で5人に特産品などをプレゼントします。

応募対象 糸満市民  
応募期限 2月21日（金）  
注意事項 エコバックの種類は選べません。プレゼントは、市役所で受け取りとなります。



今回のプレゼントは…

### FMたまんから「開局記念CD & 記念誌」 糸満市民から「大漁旗リメイクエコバック」



FMたまんさまから、開局10周年CDと開局20周年記念誌をセットでプレゼント！市民が大漁旗をリメイクしたエコバックは、5キロの米袋や缶ビール1ケースがすっぽり入るサイズです！

<提供>FMたまん、糸満市民

## 今月の表紙

今月の表紙は、イマイユ市場で水揚げをする様子です。セリに向けて23時から数時間をかけて水揚げが行われ、一度に数本ずつ水揚げされる様子は圧巻です。この機会に、「命を食す」ということを考えたいですね。



## 今日の題字

まつよし 松吉 くにこ 久仁子さん

今月号の題字は、松吉久仁子さんです。松吉さんは「市の花や市の魚を糸満を代表するサバニの上に描きました。約1年前に移住してきましたが、犬の散歩をしながら見る糸満漁港の景色が好きです」と話しました。

